

〔7月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

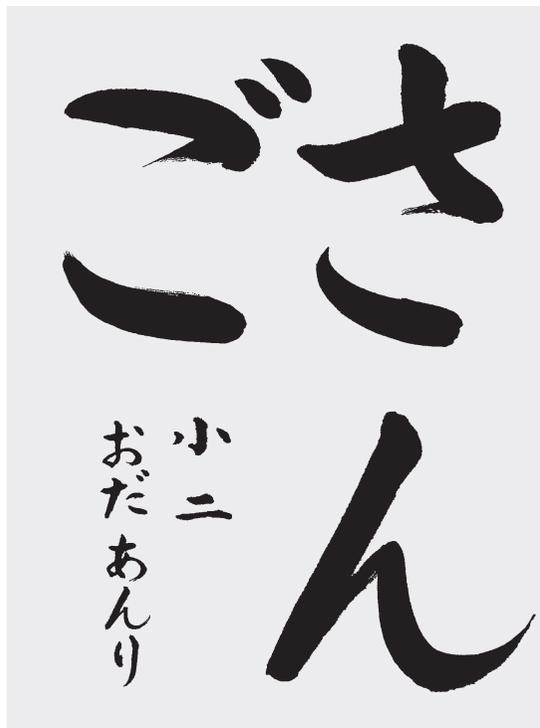


島田白露先生

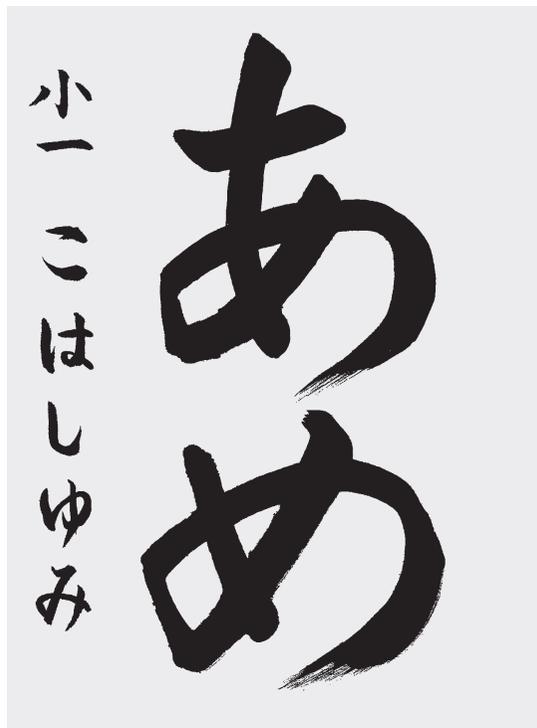
幼・小学1年参考手本



一谷春窓先生



武山櫻子先生



三浦鄭街先生

〔7月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



後藤大峰先生

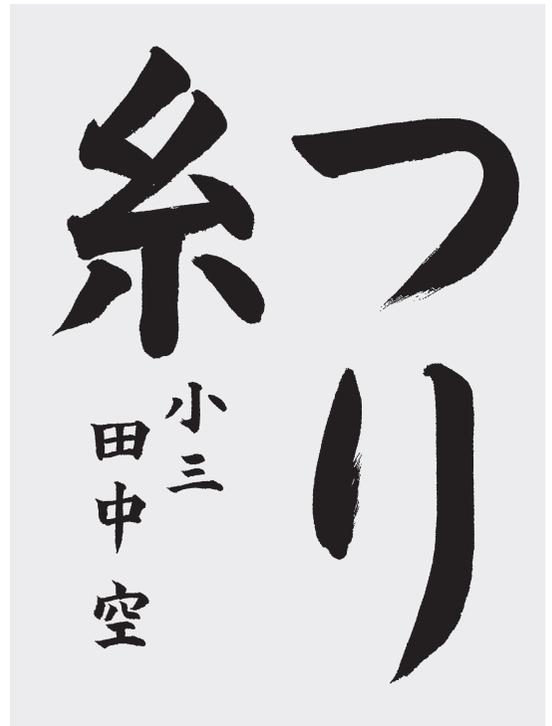
小学3年参考手本



崎井恵風先生



種谷萬城先生



片岡豪峰先生

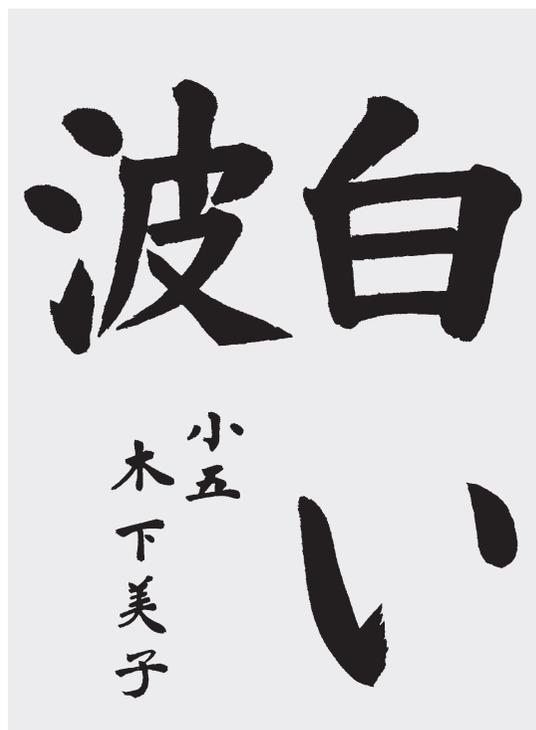
〔7月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



小竹石雲先生

小学5年参考手本



辻元大雲先生



千葉蒼玄先生



広瀬舟雲先生

〔7月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



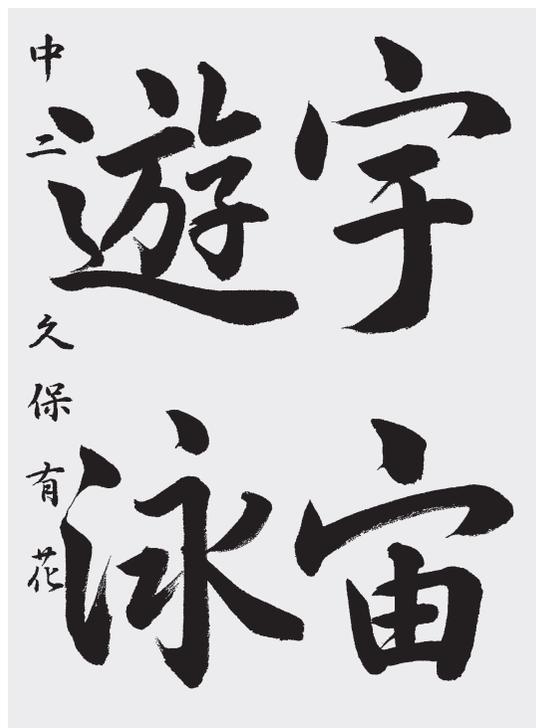
川島舟錦先生



半田藤扇先生



石井明子先生



名越蒼竹先生

毛筆参考手本解説(1)

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましよう。
ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)

1年



方向に気をつける

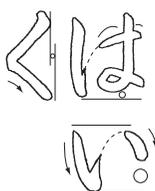
の(ゴ)の(明)の(教)

乃乃乃の

2年



安安ああ
女女あわ



波波はは
以以い
久久く

はいく(ゴ)

はいく(明)
はいく(教)

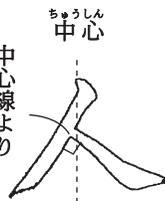


左左ささ
无无えん
己己ここ

さ(ゴ)さ(明)

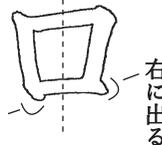
せん(教)

3年



中心線より
左で接する

人口(ゴ)
人口(明)
人口(教)



下に出る

右に出る

ひっじゅん
ノ人
一口口



斜めの画は約45度
で平行に

つり糸(ゴ)
つり糸(明)
つり糸(教)

川川つ
利利あり
ひっじゅん

糸糸糸
く糸糸

4年



パンダ(ゴ)
パンダ(明)
パンダ(教)

字源
ハハ
撥音符号
からん
多夕



半濁点
下から時計まわり

とめる
さげない
やや左に突き出し
安定感を持たせる

七色(ゴ)
七色(明)
七色(教)

筆順
一七
ノクム
名名色

5年



白い波(ゴ)
白い波(明)
白い波(教)

筆順
ノイ白
白白
シシハ
波波

許容
はなす

接する

止め
皮皮



許容

林はね
門はなす
日はなす

筆順

十木村
林
一門門
門門間
間

毛筆参考手本解説(2)

6年

中学

健康

中心
偏と傍の
大ききの
バランス
ゆったりのびやかに

広く長く
伸びやかに
中心より
もほんの少し
右よりに

筆順
一 亘 倂

健康

左右の払いの始筆は
浅く接する

許容
止め 方向

序康
一 亘 倂

文化

三画目と
四画目は
中心で交わる

止める

財

許容
方向
はなす
はなす

筆順
一 亘 倂

適切

筆順
一 亘 商 商 適

許容
方向
一七切切

遊

許容
方向
払い
折れ

宇宙

点画
の連続

軽く
止める

点画の
変化

遊

点画の方向が
次の点画に移
りやすいよう
変化する

点画の連続

直接連続

歩

点画の
連続

砂

行書の特徴
曲線的で丸みがあり
柔らかい
変化し点画の長さ、方向など
が、変わることが多い

おみ

突き
返す

つながる
気持ちで

連続—点画と点画との間に
筆脈の線が出る
ことが多い

おみ

「こ」をやや小さめに書いて
「し」をのびやかに払う

おみこし
(御神輿・お神輿)
神輿の尊敬語・美化語

ひらがなの字源 (368)

源字	字形
し	之 之 一 一
こ	己 𠂇 𠂇 𠂇
み	美 𠂇 𠂇 𠂇
お	於 𠂇 𠂇 𠂇

※源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。

※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

連続を用いない参考作品

おみ
おみ
おみ
hg行書体

「国語科書写の理論と実践」
全国大学書写書道教育学会編より転載

〔7月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年

小学 3 年

支 部 名	で	青	
	い	い	大
段・級	き	空	き
	ま	を	な
学 年	し	ゆ	白
名 前	た	っ	い
	。	く	飛
		り	行
		飛	船
		ん	が

支 部 名	で	
	家	兄
段・級	に	と
	帰	友
学 年	り	だ
名 前	ま	ち
	し	と
	た	三
	。	人

中心
空

筆順に気をつけて、字形を整えましょう。
「飛行船」
点の方向と位置

船

飛

空(ヨ) 空(明) 空(教)
長く

船(ヨ) 船(明) 船(教)
力月舟舟ハ船

飛(ヨ) 飛(明) 飛(教)
ててて 下下下 飛飛飛

中心
家

筆順に気をつけて、字形を整えましょう。
「兄」
「家」の組み立てに気をつけて書きましょう。

兄

帰

家(ヨ) 家(明) 家(教)
※はらいの方向に注意して
左右のつりあいをとる

兄(ヨ) 兄(明) 兄(教)
中心から書いて
中心にもどる

帰(ヨ) 帰(明) 帰(教)
とめ

〔7月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生（行書）

中学生（楷書）

※書写用具は、えんぴつ、フェルトペン、ボールペン。筆ペンは不可。

支部名	パンが見直されてる。 を求める人々を中心に天然酵母 近頃は、安全で健康によいもの
段・級	
学年	
名前	
宮田 信二	

支部名	パンが見直されてる。 を求める人々を中心に天然酵母 近頃は、安全で健康によいもの
段・級	
学年	
名前	
宮田 信二	

然
h 行書体

然
然
然

・行書のワンポイントアドバイス
 「れっか(ハ)の行書には、「四つの点」に連続線をつけたものから「三つの点」に省略したもの、更に全部つづけてしまうものまでいろいろあります。

見
見
見
見
見
見

酵
酉
酵
母
酵
母
酵
母

「パン」
 行がゆがまないように、整えて書きましょう。
 中心
 安全で健康によい

これからの作品締切日と課題

令和4年8月号～5年1月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
波打ち際	湖畔	道路	思いやり	節水	青	こかげ	ろ	8月5日	8月
<small>青蛙のおのれもベンキぬりたてか</small>	異口同音	大空の旅	海底	美しい	上下	ハム	にじ		
三筆	平安の遣唐使	美術	馬車	平行	月見	やさい	ま	9月7日	9月
はな	無我夢中	くりの実	読む	虫のこえ	光る	おんぷ	ふえ		
秋の夜長	競技	庭園	青空	考える	水玉	このは	ら	10月5日	10月
ぐも	一步千金	気配り	里の秋	風力	ランプ	もみじ	きく		
成し	縮図	街角	ちぎれ雲	葉	点	あかり	ひ	11月7日	11月
くれ	漢和辞典	現代の書	星の光	赤い実	火山	おやつ	そら		
知る	温暖化	ブランド	冬山の朝	詩人	マウス	まほう	お	12月5日	12月
かな	風力発電	誠実	理想	もみの木	森	ひなた	かぶ		
故郷	短歌	湖水	働く	毛筆	空	うさぎ	さ	1月9日	1月
しらゆき	白雪紅梅	事始め	野原	福笑い	大会	へいわ	ゆめ		

8月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

び	き
を	の
し	う
ま	、
し	は
た	な
。	

小 2

し	大
た	き
。	な
	花
	火
	を
	見
	ま

小 3

ス	午
ト	後
が	は
あ	、
り	国
ま	語
す	の
。	テ

小 4

気	出	ご
を	る	み
つ	熱	を
く	を	も
り	利	や
ま	用	す
す	し	と
。	て	き
	、	に
	電	

小 5

心	足	友
が	感	人
伝	や	と
わ	来	や
っ	年	り
て	へ	と
き	期	げ
ま	待	た
す	す	満
。		

小 6

ト	を	ふ
ラ	久	る
ン	し	さ
プ	ぶ	と
を	り	の
し	に	友
ま	訪	人
し	問	の
た	し	家

中学生

放	岬
つ	の
灯	果
台	て
に	の
ロ	断
マ	崖
ン	に
を	そ
感	び
じ	え
ま	、
す	

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第64回 ローマ字を手書きする時の筆順

小学校における「外国語（英語）」の学習は三年生から始まります。ローマ字学習は「国語」の中に入ることは前号で述べましたが、これも小学校三年生で始まります。三年生における外国語は、外国語活動といい、主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知ること、重きを置き、耳で聞いたり、会話したりすることが主で、単語を書いたりすることは、しないそうが、そうなることとローマ字学習の時は、初めてアルファベットを手書きする時となります。小学校国語の中にローマ字学習があるという事は、手書き文字を扱う「書写」にも少なからず関係してきますので、今回は、この筆順について注目してみます。一般的にアルファベットには筆順が有って無いもの、つまり決まった筆順は無いとされ、外国人はあまり気にせず実際に様々な筆順が存在します。しかし、日本では教える上で、どれも良いとすると混乱し困ると考えられたのか、小学校教育で推奨する筆順があるようです。

なぜこんな筆順を…と思ったものを抜き出してみました。漢字の筆順は、同じ形は、なるべく同じ筆順となるようにしていることは以前述べましたが、ここにもこの考え方が適応されていることが判りました。基本は、①「上から下へ」、②「左から右へ」です。よって、どのアルファベットも一番左側にある長い縦画が第一目となります。EFは、「横↓縦↓横↓（横）」と上部の横画から書く人が多いですが、基本法則からすると合致せず、HMNと同じように長い縦画から書くこととなります。ところが、HNの第二画目は一番右側に位置する長い縦画となるのですが、私たちが普段慣れた感覚とは異なるどころです。

つぎにVですが一画で書くのではなく、「左上から下」そして「右上から下」の二画で書きます。Wは、Vを二個横に接して並べたものという事で、Vの筆順を二回繰り返して書く、つまり四画で書く筆順となります。実際には、すべて繋げて一画で書いている人の方が多いのではないのでしょうか。能率の観点からみると、てなと思われ驚きです。Xの筆順については、（ばつ）の筆順とは逆となります。Yは、同じ形は同じ筆順の原則から、Vを先ほどの筆順で書いてから短い縦画を書き加えます。なぜ欧米人が多用している筆順を日本の小学校教育に取り入れなかったのかここで考えてみました。能率を優先した書き方よりも、これからたくさん習いなければならぬ漢字の筆順の原則になるべく通ずるようなした方が、児童の今後の文字学習にメリットがあると考えたからではと推測（つづく）

◀日本の小学校で学習するアルファベットの筆順の基本パターン

BDEFKPRHNM (ア) 一番左側の長い縦画が先
II → H N M (イ) 外側2本の縦画が先 (左→右の順)
V → WY (ウ) 「左上→下、右上→下」・Vの応用
M (エ) = (イ) → (ウ) の順

今 月 の ホ ー プ



一画ごとに落ち着いた筆運びで、安定した作品です。折れやはらいなどもしっかり書けています。名前も丁寧です。

小六 滝口日菜 (もくせい支部)



入筆、払いが特に見事です。堂々とした線で安定感のある作品です。名前も本文同様立派に書きました。

小三 松川莉子 (福山塾支部)

支部名	白菊
役・級	
学年	中三
氏名	鈴木芽衣

よく使われました。

まの^レは夜の枕詞です。和歌で

「くさまくら」は旅、「ぬはた

初めから名前まで一貫して安定感があります。慎重に心を込めて書いた文字は調和がとれ、穏やかで美しい作品です。

中三 鈴木芽衣 (白菊支部)

支部名	わかば	を	手紙	心
役・級	2	温	は	の
学年	四	か	相	こ
氏名	田中	く	手	も
	柚	し	の	っ
	月	ま	気	た
		す	持	お
		。	ち	礼
				の

正確で整った字形は抜群の美しさです。懐大きく、温かみもあり安定した作品です。名前も丁寧に堂々と書きました。

小四 田中柚月 (わかば支部)

幼・1年

ろ
うちだゆい

にじ
小一 いのうえさな

2年

げか
小ニ たなごほる

ハム
小ニ 小川ようこ

3年

青
小三 山口太一

上下
小三 三上 洋

4年

節水
小四 田中健太

い美し
小四 山本ゆい

5年

や思
小五 山口三夫

海底
小五 飯田菜美

6年

道路
小六 大西仁美

の大
小六 大山春子

中学

湖畔
中一 佐藤寿子

同異
中二 西川七空

ち波
中二 海野奈美

青蛙
おのれもペンキ
ぬりたてか
中三 山田花子

編集余録

○三年ぶり行動制限なしのゴールデンウィークでした。各地の人は昨年にくらべて大幅に増加したと報道されました。皆さんはどのように過ごされましたか？

○第73回全国学生書道展で入賞された皆さんを6・7月号で紹介させていただきました。写真を送っていただきましてありがとうございました。次回は、表彰式会場で皆さんとお会いしたいと思っております。現在、第74回展に向けて準備をすすめています。第74回展の表紙に2月に開催された全国学生書道展の優秀作品を掲載しております。皆さんの作品が表紙に掲載されるチャンスがあります。締め切りは、まだ先ですが力作をお待ちしております。

○春季昇段級試験の審査が終了しました。皆さんの作品を審査員の先生方が一枚一枚丁寧に審査してくださいました。審査結果が届くのを楽しみに待っていてください。

(菜扇)